

さくら



令和7年6月2日(月)

礼儀作法



礼儀「人間関係や社会の秩序を維持するために守るべき行動様式」

作法「物事を行う方法。きまったやり方。きまり。しきたり」

礼儀作法というと、堅苦しく感じる部分があるかもしれません。しかし、これは日常生活の中で不可欠なものです。目上の人と話すときは敬語を使う。丁寧にあいさつをする。当たり前のことです。

こんな話を聞いたことがあります。「礼儀作法は社会生活の潤滑油みたいなもの。なければ人間関係はぎくしゃくしてしまう。ぎくしゃくするだけならまだしも、摩擦が大きくなりすぎて人間関係が壊れてしまうこともある」

確かにそのとおりです。初対面の人から、友だち口調で話しかければ違和感を覚えます。いくら親しくても、礼を失してしまえば（無礼な態度をとれば）人間関係はうまくいかなくなるでしょう。列車内の通話や大声での会話は、それを聞く者にとって気持ちのよいものではありません。

また、礼儀作法は形式的なものになってはいけません。例えば礼をするとき、頭（こうべ）を垂れるだけでは不十分なのです。大切なのは、頭を垂れると同時に、感謝の心やお礼の気持ちが伴うことが大切です。

これらの例以外にも、TPOに応じた服装など、礼儀作法に関わることはたくさんあります。正しい礼儀作法を身につけることは、その人の品性を高め、よりよい人間関係を形成するのに不可欠であることを忘れないでください。

TPO : Time(時間)、Place(場所)、Occation(場面) 和製英語

品性 : 主に道徳的な観点から見た、その人の人柄や人格。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

